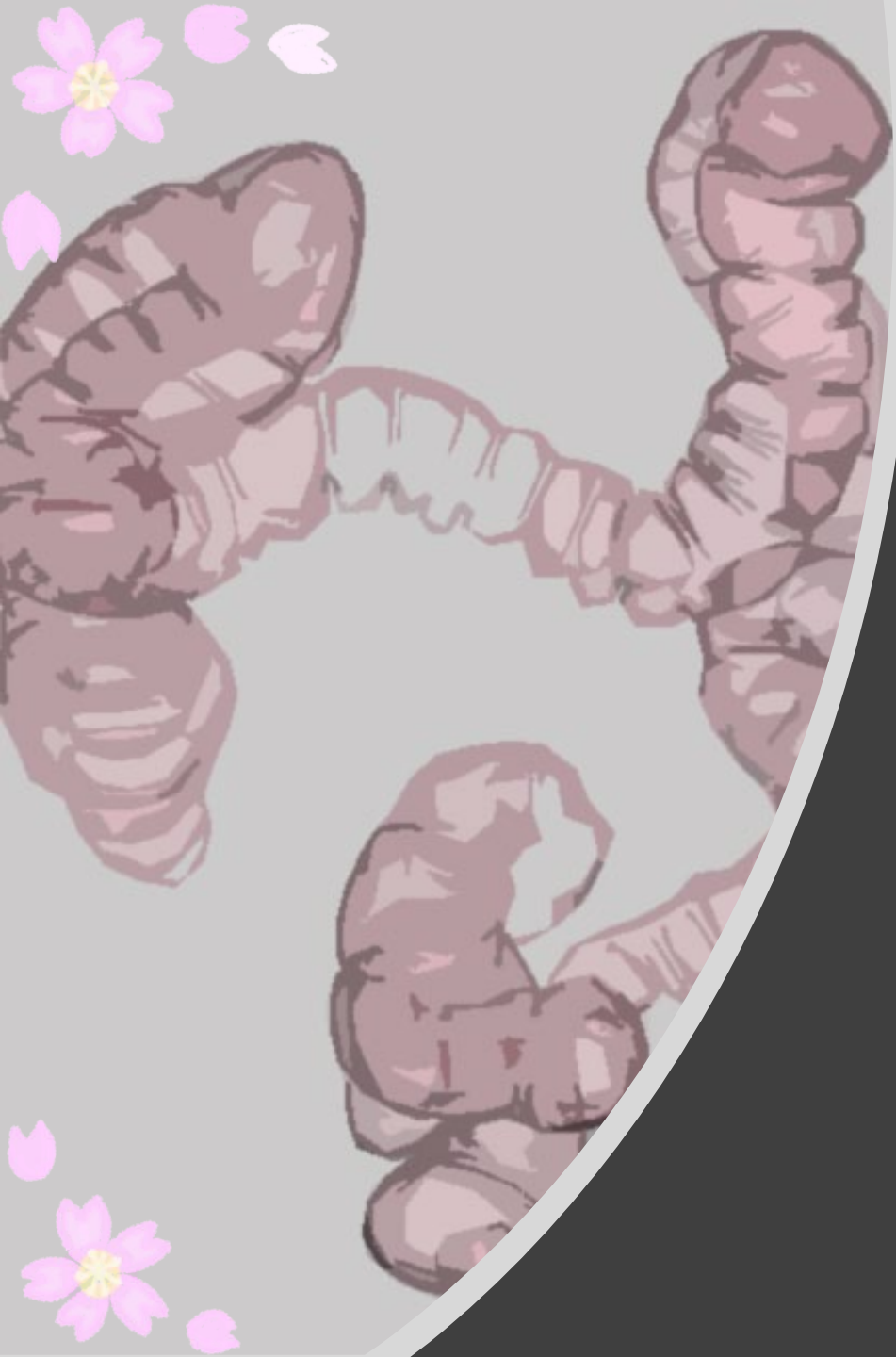


*CTCメルマガ vol.133*  
*2026.4.3*

*女性のための  
大腸CT*

*Presented by Daisuke Tsurumaru*  
*Radiology Dept. Kyushu Univ.*



第3回日本大腸CT技術研究会で、女性にフォーカスした大腸CTのシンポジウムが行われました。

シンポジウム：女性の大腸癌死亡数を減らすために

司会：有馬 浩美 先生（大腸肛門病センター高野病院）  
鎌倉 克行 先生（杜の都産業保健会）

---

1. 大腸CT検査における女性医師の役割 ～マンモグラフィーに学ぶ～  
中島 佳子 先生（九州地域放射線技師会 FRT九州）
2. 大腸CT検査における女性への対応 ～クリニック～  
崎山 遼 先生（ヘルスケアセンターディア天神新館）
3. 当院の大腸CT検査における女性受診者への配慮と取り組み  
馬場 なつき 先生（春回会クリニック・健診センター）
4. 大腸CT検査における女性への対応 ～医師の立場から～  
田中 順子 先生（琵琶湖大橋病院 消化器内科）

サマリースライドを提示します（3は次回のメルマガで取り上げます）。

# 大腸CT検査における女性医師の役割 ～マンモグラフィーに学ぶ～ 中島 佳子 先生（九州地域放射線技師会 FRT九州）

第3回日本大腸C T技術研究会

## 大腸CT検査における女性技師の役割～マンモグラフィーに学ぶ～



FRT九州 中島 佳子

### 要約①：背景・課題

日本人のがん死亡数：女性1位（男性2位）が大腸がん（2024年）

女性の大腸がん検診受診率（40～69歳女性：42.8%）は低く、精密検査受診率（71.5%）も課題

### 受診行動を抑制する『3つの壁』

- ①身体的不快（膨満感・下剤負担など）
- ②恥ずかしさ／羞恥心（臀部露出、肛門からのチューブ挿入など）
- ③未知への不安・恐れ（検査内容/結果への恐怖、情報不足）



技術的安全性が確保された今、次に必要なのは“心理的安心感”

# 大腸CT検査における女性医師の役割 ～マンモグラフィーに学ぶ～」 中島 佳子 先生（九州地域放射線技師会 FRT九州）

第3回日本大腸C T技術研究会

## 大腸CT検査における女性技師の役割～マンモグラフィーに学ぶ～

### 要約②：応用の方向性・まとめ

マンモグラフィーで実証された成功モデル（女性技師による対応／環境配慮）は、大腸CTにも応用可能  
“誰がどう対応するか”というソフト面を充実させ、心理的課題（不安・羞恥・不快）を下げる

### 女性技師の視点で、安心できる検査環境をとことん追求する

- ① 「同じ女性」という安心感
- ② 検査前説明での「共感」、言葉選びと声掛けの工夫
- ③ 受診者視点での代弁者

受診率向上のカギは『心理的安心感』 結果的に“命を守る入口”となる検査へ

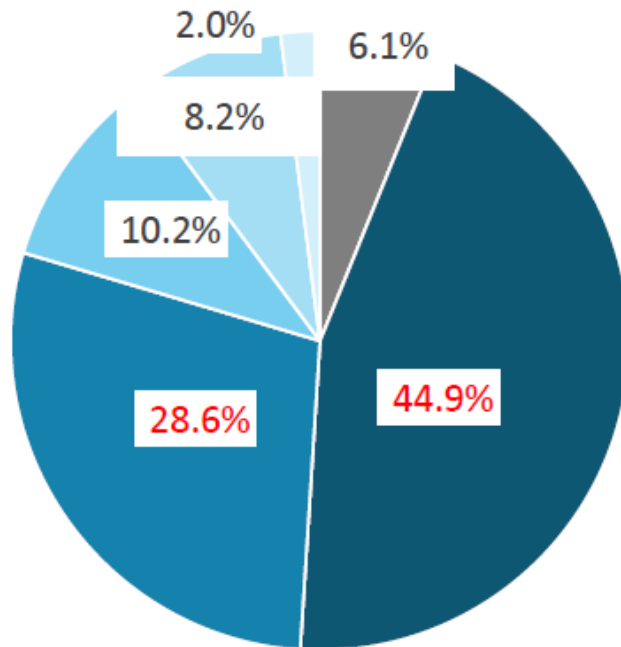


# 大腸CT検査における女性への対応 ～クリニック～

崎山 遼 先生（ヘルスケアセンターディア天神新館）

## 検査実績

### 女性の年代別



- ◆ 総数: 98名
- ◆ 平均年齢: 51.3歳 (28～93歳)
- ◆ 要大腸内視鏡検査: 5名
- ◆ 大腸癌: 1名 (50歳代)
- ◆ 目的: **スクリーニング76名、診療22名**
- ◆ **うち、二次検査 (FOBT等) 10名**  
**TCSで挿入困難・疼痛13名**  
**他医療機関から紹介6名など**

■ ～30歳代 ■ 40歳代 ■ 50歳代 ■ 60歳代 ■ 70歳代 ■ 80歳代～

大腸CT検査における女性への対応 ～クリニック～  
崎山 遼 先生（ヘルスケアセンターディア天神新館）

検査実績

## 大腸がん検診の現状

---

大腸がん検診の推計受診率：男性49%、**女性42%**

(国立がん研究センター がん情報サービス 2022年)

FOBT陽性者の精検受診率：60～70%

(日本疫学研究)

当法人(2023年度) 精検受診率：全体-51.8%、男性-47.8%、**女性-56.5%**

### 背景：女性が大腸検査を受けない理由

痛くてつらそう、自覚症状がない、羞恥心(男性に検査されるのは恥ずかしい)

大腸CT検査における女性への対応 ～クリニック～  
崎山 遼 先生（ヘルスケアセンターディア天神新館）

## 女性受診者への対応について



- 検査時は女性スタッフのみで対応
- CT室内にカーテンを設置
- 検査中は腰もとにタオルをかける
- 検査着の工夫



# 大腸CT検査における女性への対応 ～医師の立場から～

田中 順子 先生（琵琶湖大橋病院 消化器内科）

女性の大腸癌死が多い、  
 どうしたらいいのか？  
 ⇒医師の立場からも正直わからない



“がん”を不安に感じる人が思う  
 『自分に最もリスクがあると思うがん』

男性の回答 (N=4,790)			女性の回答 (N=5,331)		
1位	大腸がん	20.3%	1位	大腸がん	16.1%
2位	胃がん	16.0%	2位	乳がん	15.7%
3位	肺がん	13.2%	3位	胃がん	11.0%
4位	前立腺がん	6.2%	4位	子宮頸がん	7.8%
5位	肝臓がん	4.9%	5位	肺がん	4.3%
6位	すい臓がん	4.5%	6位	すい臓がん	3.1%

オリンパス株式会社  
 胃・大腸がん検診と内視鏡検査に関する意識調査白書2024

自分にリスクがあると思うがんは大腸がんが第1位にもかかわらず、  
 検診受診率は低い。

**その理由は。。。**

- \* 自分が検診の対象者と思っていない。
- \* 自覚症状があれば検診を受ければ良いと思っている。
- \* 自覚症状があれば病院を受診したら良いと思っている。

『自分に最もリスクがあると思うがん』  
 についての検診受診状況



オリンパス株式会社  
 胃・大腸がん検診と内視鏡検査に関する意識調査白書2024

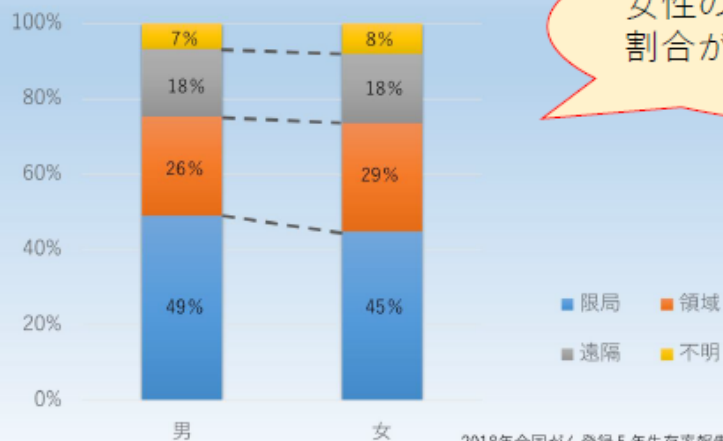
**そもそも日本人は検診の意味を  
 間違っていて理解している!!**

# 大腸CT検査における女性への対応 ～医師の立場から～」 田中 順子 先生（琵琶湖大橋病院 消化器内科）

2018年全国がん登録5年生存率報告（厚生労働省 健康・生活衛生局 がん・疾病対策課）  
大腸癌は男性 68.9% > 女性 66.7% 女性の方が少し低い

その理由は。。

### 2018年診断時の進展度



女性の方が早期に見つかっている割合が男性に比較すると少ない。

より早期に見つけることで死亡者数を減らす事が出来るかもしれない。  
それは男性も同じ！！



2018年全国がん登録5年生存率報告より作成  
厚生労働省 健康・生活衛生局 がん・疾病対策課

大腸CT検査における女性への対応 ～医師の立場から～  
田中 順子 先生（琵琶湖大橋病院 消化器内科）

## 女性に大腸CT検査をお勧めする理由

### 女性は大腸内視鏡の挿入が難しい場合や検査に苦痛を伴う事が多い

#### \* 婦人科疾患の存在

子宮筋腫や卵巣嚢腫などの粗大病変が骨盤内にある。  
子宮内膜症、骨盤内感染症などによって骨盤内癒着がある。

#### \* 女性には内臓下垂や結腸過長症の方が多

内臓下垂の方や結腸過長症の場合は、大腸の固定が緩い  
場合がある。

#### \* 女性には便秘の方が多

慢性便秘症の方は大腸が長かったり、下剤を長期に服用して  
いる方は検査前の下剤が効果不十分になりやすい場合がある。



# 女性に対する大腸CTのポイント

女性は男性よりも大腸検査を避けたがる傾向

心理的な安心が得られる検査環境づくりが肝要

身体的要因からも大腸内視鏡より大腸CTが勧められる